

# あらかわ

## 区議会だより

No.207

平成 22 年 11 月 28 日発行

編集・発行／荒川区議会 ホームページアドレス <http://www.city.arakawa.tokyo.jp/kugikai/>  
〒116-8501 東京都荒川区荒川 2-2-3 電話 03-3802-3111(代表)

平成 22 年第 3 回定例会号



荒川公園



あらかわ遊園



都電荒川線（町屋二丁目）



荒川二丁目南公園



区議会第3回定例会は、9月9日から10月13日までの35日間の会期で開かれました。

本会議の1日目と2日目には、5人の議員から区政全般にわたり一般質問が行われました（要旨は2・3面に掲載しています）。

本定例会では、議案19件が提出されました。このうち平成21年度決算5件は、決算に関する特別委員会を設置して審査を行いました（議案の審議結果は8面に掲載しています）。

### 区議会第3回定例会

### 平成21年度一般会計決算 ほか4特別会計決算を認定

#### 掲載記事の ご案内



あら坊

8面  
意見書提出  
採択した請願・陳情  
声の区議会だより  
議案の審議結果

7面・6面  
決算に対する各会派の討論  
(続き)  
委員会活動  
・議会運営委員会  
・常任委員会  
・特別委員会

5面・4面  
決算審査の概要  
・決算の審査経過  
・監査委員による決算審査の報告  
・平成21年度主要施策の成果説明(要旨)  
・主な総括質疑  
・主な締めくくり総括質疑  
決算に対する各会派の討論

3面・2面  
区政のこころをきく  
一般質問要旨  
並木 一元議員(自民党)  
吉田 詠子議員(公明党)  
安部キヨ子議員(共産党)  
浅川 喜文議員(正論の会)  
茂木 弘議員(自民党)  
第3回定例会日程

# 区政の未来をきく 一般質問要旨

## 新年度予算編成に向けてその見通しと行政改革の推進、子どもと高齢者の問題について



並木 一元 (自民党)

新年度予算編成に向けてその見通しと行政改革の推進について

国や都に押し寄せている厳しい経済状態が区の財政に影響を与えるのは必至であるが、将来の支出増と収入減を見据えた上で慎重な対策を取りながらも、区民が希望を持てる有効かつ時代に適応した施策を盛り込んだ予算編成をすべきと考える。新年度予算編成にあたっての基本的な見通しと予算に対する区長の考え方を問う。

今後の財政環境は予断を許さず、財政調整交付金や区民税は減少の見込みだが、行政改革により、景気変動に一定程度対応できる基金を確保している。特別養護老人ホーム等の建設費が一時的に増加し、基金取り崩しや起債充当で、基金と起債の残高の逆転も考えられる。基金はこういう時のために積み立ててきた。新年度予算編成にあたっては、区民サービス向上を図る一方、事業の見直しにより、この難局を克服していく。

区では、区民サービスの向上や時代状況に適合した施策の再構築に取り組んでいるが、財政規模

が縮小する中、さらなる行政改革を断行する必要がある。役割を終えた事務事業や制度疲労を起している事務事業は思い切つて廃止し、限られた財源を最大限有効に活用すべきと考えるがどうか。

区財政を取り巻く環境は厳しい状況にあることを踏まえ、行政評価や予算編成等を通じて、事業の必要性を検証し、徹底的な見直しを行い、財源を必要分野に配分するとともに、自主財源の確保も積極的に検討していく。必要ならサービスを最適な方法で提供するには、創意工夫が重要と考えており、今後も、財政運営、行政改革にしっかりと取り組んでいく。

子どもと高齢者の問題について

子どもを虐待から守るためには、区全体でこの問題を重く受け止め、すべての子どもたちが健やかに成長できるように、虐待の小さな兆候も見逃さずに、必要な行動をすばやく取ることが大切である。区の取り組みと今後の方向性、あわせて、児童相談所の拡充と区への移管に対する考えを問う。

区では、要保護児童対策地域

協議会の運営や児童虐待防止の普及啓発、児童相談所等と連携した児童の安全確保等に努めており、今後も、専門家の活用、組織・体制の整備、関係機関との連携強化に取り組んでいく。児童相談所は、特別区に移管する方向で都と協議が進められており、組織・体制の整備も協議の中で整理していく。

地方公共団体にとつて、高齢者の所在の把握は、様々な行政サービスを提供する上で非常に重要であり、区は高齢者の生存確認を積極的に進めるべきと考える。今後、区では、どのような手順や方法で高齢者の所在を確認し、その正確性を担保していくのか。

区が保有する情報の活用や自宅への訪問などで百歳以上の方全員の所在を確認し、90歳から99歳の方の所在確認も準備を進めている。今後、高齢者の所在確認を確かな方法で行うとともに、関係機関と連携し、地域全体による見守り活動を積極的に進めていく。

町屋地域の街づくりについて

今後の荒川区の教育の取り組み

町屋地域の街づくりについて

## 女性特有のがん対策と高齢者対策について



吉田 詠子 (公明党)

女性特有のがん対策について

区では子宮頸がんワクチンの接種助成をいつから実施し、対象者をどのように考えているのか。また、ワクチン接種の対象は思春期を迎える児童・生徒など多様な世代の女性であり、児童・生徒や保護者に適切に情報提供していく必要があると考えるが、普及啓発をいつから、どのような手順で行っていくのか。

子宮頸がんの公費助成は、来年度早期の実施に向け準備を進め、初年度には中学生の女子全員を対象として助成を実施する考えである。普及啓発は、学校やPTAへの説明会等を実施し、周知を図っていく。また、助成対象者は、個別に通知を送り、費用助成の内容やワクチン接種の意味等を理解してもらいたいと考える。

子宮頸がん検診について、子宮頸がんの原因となるヒトパピローマウイルスの感染を調べるHPV検査が一部の医療機関で実施されている。HPV検査の導入について、区の認識を問う。

HPV検査は、前がん病変な

どの発見率が高くなる可能性はあるが、現段階では子宮頸がんの死亡率や進行したがんの罹患率の減少は証明されていない。区は、国の研究の動向を見極めながら、HPV検査の導入を検討していく。

がん検診の検診率を向上させるため、年次ごとの検診率の目標数値を明確にし、またセミナーの開催など、広く区民に検診の必要性をアピールしていくべきと考えるがどうか。

区では、20歳の女性に対するがん検診案内時に女性の健康に関するパンフレットを同封する取り組みや、ホームページへの具体的な検診内容の掲載などによって、よりがん検診を受けやすい環境づくりに努めていく。

高齢者対策について

高齢者の健康を守るため、肺炎球菌の予防接種費用の助成を実施すべきと考えるがどうか。

肺炎球菌ワクチンは、現在国の予防接種部会で公費負担のあり方を含め検討中であり、その動向を見守りながら検討していく。

国民健康保険被保険者証と特

定健診の受診券、高齢受給者証を一本化し、区民が使いやすいよう機能集約を図ってはどうか。

機能集約した場合の費用対効果等の検討とともに、被保険者の利便性を図る観点から、関係機関等に見直しを働きかけていく。

元気な高齢者が特別養護老人ホーム等でボランティア活動を行うことにより、本人の健康増進と介護予防につながることや、社会参加、地域貢献を通じた生きがいづくりが促進できるよう、「(仮称)高齢者ポイント事業」を早期に導入すべきと考えるがどうか。

福祉ボランティアのポイント制度は、平成20年の区長選の際に公約に盛り込み、区民と制度の導入を約束したものであり、区民の介護保険料の負担などを考慮しつつ、制度の趣旨を最大限生かせるよう検討を重ねてきたところである。今後、制度の早期具体化に向け、鋭意、検討を進めていく。

放課後子どもプランについて

町屋地域の町文化漂う街づくりと環境整備について

### 【第3回定例会日程】

- 9月9日 本会議
- 9月13日 本会議
- 9月14日 決算に関する特別委員会
- 9月15日 総務企画委員会
- 9月15日 福祉・区民生活委員会
- 9月15日 文教・子育て支援委員会
- 9月22・24・27・28・30日 建設環境委員会
- 10月1・4日 決算に関する特別委員会
- 10月5日 本会議
- 10月6日 文教・子育て支援委員会
- 10月8日 決算に関する特別委員会
- 10月8日 議会運営委員会
- 10月12日 建設環境委員会
- 10月13日 本会議

詳細については現在作成中の会議録ができれば、区立図書館及び区役所2階の情報提供コーナーにおいて閲覧できます。また、荒川区議会ホームページ (<http://www.city.arakawa.tokyo.jp/kugikai/>) で平成13年5月以降の本会議録を検索することができます。あわせてご利用ください。



あら坊

### 高齢者のくらしの安心と負担軽減のために、テレビ難民を生まないために



安部 キヨ子 (共産党)

高齢者のくらしの安心と負担軽減のために

後期高齢者医療制度や介護保険サービスを利用していない高齢者の所在確認を行うとともに、医療や介護など必要なサービスを受けることができるよう、経済状況なども把握した上で対策を取ること。

区は、見守りが必要な高齢者の状況に応じて支援しており、本年は、必要に応じて自宅を訪問するなどにより、所在確認を行った。今後も必要なサービスが受けられるよう、適切に対応していく。

熱中症や灯油ストーブによる火災を予防するため、アパートの大家による高齢者のためのエアコン設置に補助を検討すべき。

区は、暖房器具の取り扱いの啓発活動や、熱中症対策としての見守りなどに取り組みしており、今後も関係機関と連携し、高齢者の安全・安心の確保に努めていく。

介護保険料減額制度の預貯金限度額を大幅に引き上げるとともに社会福祉協議会の「にこにこサービス」の利用者負担を軽減するため、利用料補助を実施

国は、総務省東京都中央テレビ受信者支援センター等とも連携を図りながら、適切な支援を行っていく。

地上デジタル放送についてテレビ難民を生まないために

地上デジタル放送への完全移行で区の建物による難視聴対策を打ち切るとした決定を見直すとともに、テレビ難民世帯が生まれぬよう、実態調査を行うべき。

区施設を原因とする難視聴世帯該当地域で電波障害が発生しないことを確認し、周知や相談窓口の設置を行っており、見直す予定はない。また、様々な場で区民から話を聞いており、調査の必要性はないと考える。

国に対し、アナログ放送停止の延期と低所得者などへの支援強化を強く求めるとともに、区としても支援策を検討すること。

国の動向を注視するとともに、総務省東京都中央テレビ受信者支援センター等とも連携を図りながら、適切な支援を行っていく。

区として、地デジ問題「相談窓口」と「コールセンター」を設置すること。

区では、区報や説明会、相談窓口等で情報提供を行ってきており、区独自の相談窓口やコールセンターの設置の予定はない。

少人数学級の推進について

子ども・子育て新システムに対する区の認識について

介護保険抜本的見直しについて

若者の雇用について

放置自転車対策について

肺炎球菌ワクチン接種の公費助成

高齢者の肺炎球菌ワクチンや小児の肺炎球菌ワクチンは、現在の国の予防接種部会で公費負担のあり方を含め、検討しており、区としては、その動向を見守りながら検討していく。

肺炎球菌ワクチン接種の公費助成

日本呼吸器学会によると、慢性肺炎患者や65歳以上の高齢者では、23価肺炎球菌ワクチン接種とインフルエンザワクチン接種の併用効果が認められており、入院や死亡リスクが減少すると報告されている。高齢者等の生命を守り健康寿命を延ばし、併せて医療費削減を図るため、今年冬のインフルエンザ流行期に間に合うよう

区は、区報や説明会、相談窓口等で情報提供を行ってきており、区独自の相談窓口やコールセンターの設置の予定はない。

少人数学級の推進について

子ども・子育て新システムに対する区の認識について

介護保険抜本的見直しについて

若者の雇用について

放置自転車対策について

### 外郭団体のあり方と 区民の福祉・健康について



茂木 弘 (自民党)

外郭団体のあり方について

公益法人制度改革三法が施行され、シルバー人材センター、地域振興公社、勤労者福祉サービスセンターが法人の移行準備中であるが、これらの外郭団体や社会福祉協議会は、今後、社会ニーズに合わせた見直しや経費削減などの改革を行うべきと考える。区が考えている方向性を問う。

制度改革の対象となる各団体はそれぞれの使命を果たしてきたと認識している。また、社会福祉協議会も地域福祉の向上に貢献してきた。今後、これまでの実績を踏まえつつ、これからの時代にふさわしい質の高い区民サービスを提供できる法人となるよう、区として必要な支援を行っていく。

区は、今後、荒川区地域振興公社（ACC）への支援や文化振興事業をどのように進めていくのか。さらに、芸術文化振興には、長期的・継続的な取り組みが必要であり、ACCは専門的人材の採用や拠点施設の確保など、執行体制を充実すべきと考えるがどうか。

区は区内の芸術文化水準の向上

グ」を、新たに整備する施設で導入すべきと考えるがどうか。

ベッドの共同利用は、在宅生活の高齢者への支援につながると認識しているが、利用者の自己負担が高額になる場合があることや運用が難しいことから、全国的にも実施施設が少ない。こうした状況を踏まえながら、今後、社会福祉法人とも協議していく。

区政世論調査で幸福と健康維持との相関の高さが示されており、区民の健康意識が高まる中、健康維持に関する取り組みの優先度は高い。幸福実感都市を目指す区として、脳ドック検診の補助制度を検討すべきではないか。

脳ドック検診は普及しつつあり、民間の保険者や他自治体で補助対象としているところもある。こうした現状も踏まえ、国民健康保険、後期高齢者医療保険の被保険者を対象として、脳ドック検診の補助制度を検討していく。

その他の質問項目

財政について

教育について

### 小惑星探査機「はやぶさ」のカプセル展示誘致と肺炎球菌ワクチン接種の公費助成について



浅川 喜文 (正論の会)

小惑星探査機「はやぶさ」のカプセル展示誘致について

宇宙航空研究開発機構が小惑星探査機「はやぶさ」のカプセル展示団体を募集しているが、この展示や講演等を区で実現できれば多くの子どもたちに夢と希望を与えられる。また、主要交通の結節

点でもある日暮里駅周辺を展示や講演の会場にし、日暮里駅周辺のポテンシャル向上を図るべきと考える。区にとつて、千載一遇の機会とも言える展示の誘致について、区の見解を問う。

提案の展示会の開催等を積極的に検討したが、子どもたちを

はじめ広く区民に展示するためには、厳しい展示の条件を満たす必要があり、開催は難しいと考える。これまで区では、人工衛星「輝汐」の研究など、子どもたちに夢を与える活動を支援しており、今後も、学校における理科教育やものづくり教育等を充実させていく。

肺炎球菌ワクチン接種の公費助成

日本呼吸器学会によると、慢性肺炎患者や65歳以上の高齢者では、23価肺炎球菌ワクチン接種とインフルエンザワクチン接種の併用効果が認められており、入院や死亡リスクが減少すると報告されている。高齢者等の生命を守り健康寿命を延ばし、併せて医療費削減を図るため、今年冬のインフルエンザ流行期に間に合うよう

区は、区報や説明会、相談窓口等で情報提供を行ってきており、区独自の相談窓口やコールセンターの設置の予定はない。

少人数学級の推進について

子ども・子育て新システムに対する区の認識について

介護保険抜本的見直しについて

若者の雇用について

放置自転車対策について

肺炎球菌ワクチン接種の公費助成

高齢者の肺炎球菌ワクチンや小児の肺炎球菌ワクチンは、現在の国の予防接種部会で公費負担のあり方を含め、検討しており、区としては、その動向を見守りながら検討していく。

肺炎球菌ワクチン接種の公費助成

日本呼吸器学会によると、慢性肺炎患者や65歳以上の高齢者では、23価肺炎球菌ワクチン接種とインフルエンザワクチン接種の併用効果が認められており、入院や死亡リスクが減少すると報告されている。高齢者等の生命を守り健康寿命を延ばし、併せて医療費削減を図るため、今年冬のインフルエンザ流行期に間に合うよう

区は、区報や説明会、相談窓口等で情報提供を行ってきており、区独自の相談窓口やコールセンターの設置の予定はない。

少人数学級の推進について

子ども・子育て新システムに対する区の認識について

介護保険抜本的見直しについて

若者の雇用について

放置自転車対策について

肺炎球菌ワクチン接種の公費助成

高齢者の肺炎球菌ワクチンや小児の肺炎球菌ワクチンは、現在の国の予防接種部会で公費負担のあり方を含め、検討しており、区としては、その動向を見守りながら検討していく。

肺炎球菌ワクチン接種の公費助成

日本呼吸器学会によると、慢性肺炎患者や65歳以上の高齢者では、23価肺炎球菌ワクチン接種とインフルエンザワクチン接種の併用効果が認められており、入院や死亡リスクが減少すると報告されている。高齢者等の生命を守り健康寿命を延ばし、併せて医療費削減を図るため、今年冬のインフルエンザ流行期に間に合うよう

### 外郭団体のあり方と 区民の福祉・健康について



茂木 弘 (自民党)

外郭団体のあり方について

公益法人制度改革三法が施行され、シルバー人材センター、地域振興公社、勤労者福祉サービスセンターが法人の移行準備中であるが、これらの外郭団体や社会福祉協議会は、今後、社会ニーズに合わせた見直しや経費削減などの改革を行うべきと考える。区が考えている方向性を問う。

制度改革の対象となる各団体はそれぞれの使命を果たしてきたと認識している。また、社会福祉協議会も地域福祉の向上に貢献してきた。今後、これまでの実績を踏まえつつ、これからの時代にふさわしい質の高い区民サービスを提供できる法人となるよう、区として必要な支援を行っていく。

区は、今後、荒川区地域振興公社（ACC）への支援や文化振興事業をどのように進めていくのか。さらに、芸術文化振興には、長期的・継続的な取り組みが必要であり、ACCは専門的人材の採用や拠点施設の確保など、執行体制を充実すべきと考えるがどうか。

区は区内の芸術文化水準の向上

グ」を、新たに整備する施設で導入すべきと考えるがどうか。

ベッドの共同利用は、在宅生活の高齢者への支援につながると認識しているが、利用者の自己負担が高額になる場合があることや運用が難しいことから、全国的にも実施施設が少ない。こうした状況を踏まえながら、今後、社会福祉法人とも協議していく。

区政世論調査で幸福と健康維持との相関の高さが示されており、区民の健康意識が高まる中、健康維持に関する取り組みの優先度は高い。幸福実感都市を目指す区として、脳ドック検診の補助制度を検討すべきではないか。

脳ドック検診は普及しつつあり、民間の保険者や他自治体で補助対象としているところもある。こうした現状も踏まえ、国民健康保険、後期高齢者医療保険の被保険者を対象として、脳ドック検診の補助制度を検討していく。

その他の質問項目

財政について

教育について

平成22年荒川区議会第4回定例会は11月29日に開会する予定です。



# 平成 21 年度決算を認定 決算に関する特別委員会

平成 21 年度一般会計歳入歳出決算ほか 4 特別会計歳入歳出決算は、議長・監査委員を除く全議員で構成される決算に関する特別委員会（委員長＝茂木 弘、副委員長＝斉藤邦子）を設置し、9 月 22 日から 10 月 6 日まで審査を行い、いずれも認定することに決定しました。



## 監査委員による決算審査の報告

平成 21 年度決算の審査につきましては、区長から提出されました、各会計歳入歳出決算書、その他地方自治法に定める書類等について、去る 7 月 22 日から 8 月 27 日まで実施いたしました。

あつても、健康づくりや福祉の充実に努め、体制を整備されてきているところですが、引き続き、収入未済の解消等に向け適切かつ積極的な取り組みを進めていただきたいと、改めて申し上げます。

なお、財務に関する事務の執行等に関して実施した定期監査及び現金の出納検査の結果については、その都度議会及び区長に報告を申し上げたところでもあり、監査の結果、改善等すべき事項がありました場合には、関係の執行機関に対し改善を求めたところでもあります。

その結果、決算計数に誤りはなく、各会計の決算内容、予算の執行状況等も適正と認められましたので、その旨の審査意見を 8 月 27 日に区長あてに提出いたしました。

また、地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく健全化判断比率に係る審査意見書を 8 月 27 日に区長あてに提出いたしました。

以上、決算審査の結果を申し上げますが、私も監査委員はその使命を重く受けとめ、区の行政の公正かつ効率的な運営を確保し、区民の信頼と期待にこたえるべく引き続き監査業務に万全を期してまいります。

意見書において述べておりますが、区財政運営は収支状況及び各種財政指標等が示すとおり、健全であり、評価できるものであります。

こうした財務分析、また、事務事業全般に渡る「行政評価制度」などを活用し、基本構想に掲げられた「幸福実感都市あらかわ」の実現に向け、一層強固で弾力的な財政基盤の確立に努められるよう望むものであります。

しかしながら、世界的な不況のなか、そうした経済情勢が特別区民税や都区財政調整交付金など区財政にも影響を及ぼしてきております。

他方、このような財政状況に

## 平成 21 年度 荒川区主要施策の成果説明 (一部抜粋・要旨)

### 生涯健康都市

○ **新型インフルエンザ対策事業**  
新型インフルエンザ（A/H1N1）の発生に伴い、相談体制の充実を図るとともに、情報提供を行った。感染拡大を防止するため、マスクを配付するとともに、ワクチン接種の費用助成を実施した。

### 子育て教育都市

○ **予防接種の充実**  
細菌性髄膜炎の主要菌であるインフルエンザ菌 b 型（ヒブ）の罹患を予防し、乳幼児の健康を確保するため、国の定期接種化や他自治体に先駆け、ヒブワクチンの予防接種への助成を開始した。

### 産業革新都市

○ **中小企業融資**  
厳しい経営環境にある区内中小企業に対し、経営の安定と活性化をより一層推進するため、事業経営に必要な資金のあつ旋を行った。

### 環境先進都市

○ **まちな環境美化推進**  
区内全域での歩行喫煙禁止や、主要駅周辺を路上喫煙禁止地区に指定したほか、環境美化推進モデル地域等において、さらなるまちな環境美化を推進した。

### 文化創造都市

○ **江戸伝統技術の保存**  
伝統工芸技術を保存・継承するため、伝統工芸技術継承者の育成支援を行った。

### 安全安心都市

○ **AED（自動体外式除細動器）の設置促進**  
夜間等の緊急時においても利用できるように、24 時間営業の事業所、安全・安心パトロールカーや庁有車などに AED を設置した。

○ **計画推進のために**  
荒川区自治総合研究所の設置  
区が抱える課題等について、多角的・中長期的な視点に立って調査研究を行う機関として、荒川区自治総合研究所を設立した。

## 決算の審査経過

一般会計歳入歳出決算  
(9 月 22 日～10 月 4 日)

○ 縮めくり総括質疑（7 会派）  
※主な質問項目は別掲  
○ 採決  
採決の結果  
認定することに決定

○ 決算の概況説明（副区長）  
○ 主要施策の成果説明（副区長）  
○ 総括質疑（7 会派）  
※主な質問項目は別掲

○ 歳出審査（議会費・総務費）  
9 月 24 日  
○ 歳出審査（総務費）  
9 月 27 日  
○ 歳出審査（総務費・民生費）  
9 月 28 日  
○ 歳出審査（民生費・衛生費・環境清掃費・産業経済費）  
9 月 30 日  
○ 歳出審査（産業経済費・土木費）  
10 月 1 日  
○ 歳出審査（土木費・教育費）  
10 月 4 日  
○ 歳出審査（公債費・諸支出金・予備費）  
○ 歳入審査

○ 採決  
採決の結果  
認定することに決定

○ 国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算、老人保健医療特別会計歳入歳出決算、後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算（10 月 4 日）  
○ 審査  
○ 採決  
採決の結果  
認定することに決定

○ 介護保険事業特別会計歳入歳出決算（10 月 4 日）  
○ 審査  
○ 採決  
採決の結果  
認定することに決定

○ 外郭団体に関する調査  
(10 月 6 日)

○ 公明党 萩野 勝 委員  
・高齢者の多様なニーズに応じた居住の場の確保について  
・ケア付高齢者向け賃貸住宅等の誘致を推進することについて  
・区民住宅の建設借入金の一括返済による利息の節約について

○ 民主・市民 清水 啓史 委員  
・「放課後子どもプラン」事業の整備について  
○ 元気クラブ 斉藤 裕子 委員  
・巨額の補助金を支出した再開発事業の検証と見直しを求める。

○ 日本創新党 小坂 英一 委員  
・実体験を通じた命と食に向き合う教育を実施することについて  
○ 正論の会 浅川 喜文 委員  
・日暮里駅前広場を活用し、地方都市が元気になる発信基地に！

○ 総括質疑の模様をご覧になりたい方は DVD を広報課及び各区立図書館で貸し出しますのでご利用ください。

## 主な総括質疑

### 自民党

服部 敏夫 委員

・地区計画策定の趣旨とその経過、今後の展開について  
・新型 D 級ポンプの今後の活用について  
・あり方と水利の確保について  
・都市型水害への対応と下水道再構築工事の進捗状況について  
・荒川自然公園のエレベーター設置に向けた取り組みについて

### 自民党

斉藤 泰紀 委員

・区民施設整備の財源を起債によ

り確保することについて  
・短期入所生活介護の積極的な拡充と利用計画策定について  
・在宅育児家庭に対する支援と環境整備の計画策定について

### 共産党

相馬 堅一 委員

・子宮頸がんワクチン接種助成とワクチンの周知について  
・高齢者全員への敬老祝い金を復活させることについて  
・特別養護老人ホームの整備、入所者や家族の費用負担について

### 公明党

萩野 勝 委員

・高齢者の多様なニーズに応じた居住の場の確保について  
・ケア付高齢者向け賃貸住宅等の誘致を推進することについて  
・区民住宅の建設借入金の一括返済による利息の節約について

### 民主・市民

清水 啓史 委員

・「放課後子どもプラン」事業の整備について

### 元気クラブ

斉藤 裕子 委員

・巨額の補助金を支出した再開発事業の検証と見直しを求める。

### 日本創新党

小坂 英一 委員

・実体験を通じた命と食に向き合う教育を実施することについて

### 正論の会

浅川 喜文 委員

・日暮里駅前広場を活用し、地方都市が元気になる発信基地に！

総括質疑の模様をご覧になりたい方は DVD を広報課及び各区立図書館で貸し出しますのでご利用ください。

# 主な締めくくり総括質疑

自民党

志村 博司 委員

- ・学力向上のための区の取り組みとその成果について
- ・区立小中学校の全教室に設置した電子黒板の効果について
- ・災害時の一時集合場所や避難場所の見直しについて
- ・環境学習の拠点となるリサイクルセンターの整備について
- ・区内の事業者と連携したリサイクルの取り組みについて
- ・高齢者肺炎球菌ワクチンの予防接種に対する助成について
- ・プラチナ構想ネットワークに対する区の認識について

共産党

小林 行男 委員

- ・就学援助の現状と教材・教具の公費負担のあり方について
- ・全体像を見据えた区立小中学校での少人数学級推進について
- ・介護保険制度等における公費負担のあり方について

公明党

保坂 正仁 委員

- ・空き地・空き家等を適正に管理するための条例制定について
- ・街づくりや高齢者福祉の観点から空き家の活用について
- ・区が取得した日暮里区民事務所隣接地の活用について

民主・市民

瀬野 喜代 委員

- ・福祉と教育の連携による高校生等への支援について

元気クラブ

斉藤 裕子 委員

- ・介護保険制度を弾力的に運用し、基準の確立・公開を求める。

日本創新党

小坂 英一 委員

- ・選挙管理委員の高額な月額報酬を是正することについて

正論の会

浅川 喜文 委員

- ・超高齢化社会対応型街づくりの汐入地区での活用について

# 平成21年度決算の概要

単位：円

	予算現額	歳入（収入率）	歳出（執行率）	歳入歳出差引 残高	
一般会計	100,538,555,000	93,801,995,043 (93.3%)	92,159,896,262 (91.7%)	1,642,098,781	
特別会計	国民健康保険事業	24,806,000,000	23,339,850,233 (94.1%)	23,269,470,042 (93.8%)	70,380,191
	老人保健医療	208,849,000	161,501,369 (77.3%)	147,918,626 (70.8%)	13,582,743
	後期高齢者医療	3,735,000,000	3,101,975,131 (83.1%)	3,059,511,983 (81.9%)	42,463,148
	介護保険事業	12,778,884,000	12,731,812,802 (99.6%)	12,624,119,118 (98.8%)	107,693,684
計	142,067,288,000	133,137,134,578	131,260,916,031	1,876,218,547	



# 平成21年度決算をどう評価する

10月13日の本会議において、平成21年度一般会計決算について各党派から討論が行われました。その要旨をお知らせします。

## 賛成

徹底した行財政改革や事務事業の再点検・再構築の取り組みによる健全な財政状況を評価

自民党

区政全般では、経常収支比率や公債費比率は適正な水準を維持しており、さらに財政健全化法に基づく健全化判断比率の四つの指標は、いずれも適正な水準となっている。荒川区の財政状況がここまで改善されてきたのは、わが党が主張してきた徹底した行財政改革や事務事業の再点検・再構築に区が取り組んできた結果と評価する。

防災対策では、地域防災計画の充実、D級ポンプの有効な活用、一時避難場所・広域避難場所の見直し等、災害対策の充実強化を期待する。

待する。防犯対策では、防犯パトロールや暗がり対策、安全・安心ステーションの充実など、引き続き区民が安心して生活できるまちの実現に向け、関係機関や地域と連携し、さらに強化してほしい。

健康・福祉と子育て支援の分野では、介護予防の充実、特別養護老人ホーム待機者解消、ショートステイの拡充、障害者の就労支援の充実、子育て環境整備計画の策定、待機児解消に向けた保育施設の整備、放課後子どもプランの全校実施や、子宮頸がんワクチン接種や高齢者の肺炎球菌予防ワクチン接種の充実を期待する。

## 賛成

概ね良好な財政状況を評価、今後の財政需要に対する基金、起債の計画的活用と行財政改革を要望

公明党

議会と行政が、行政改革を進めてきたことにより、区の財政状況が概ね良好であるのは、誇るべきことである。しかし、都区財政調整交付金や区民税の減少の見込みなど、区を取り巻く財政環境は、予断を許さない状況にある。一方、

ン接種の助成を要望する。

教育では、学校パワーアップ事業の充実や国語力向上策の具体的な実施、租税教育の実施と給食後の歯磨きの全校実施を要望する。

公園整備や緑化推進では、(仮称)宮前公園の早期整備や「花と緑の基本計画」に基づいた具体的な取り組みを期待する。また、街路樹の銘板を増やしてほしい。

産業振興では、区内のものづくりに産業の活性化を図るとともに、商店街ルネッサンス推進事業やイベント推進事業の充実により、商店街の活性化に向けた取り組みが一層進められることを期待する。

観光振興、地域振興では、都電荒川線の開通100年のイベント、日暮里駅前広場を活用した商業振興や文化交流推進、町会等への助成金の運用に柔軟性を持たせることを要望する。さらに、複合施設は、早急に建物や周辺道路の

総合的な整備に取り組むよう願う。

環境については、区として新たな地球温暖化対策に率先して取り組むとともに、住民の理解を得た上で、早期にリサイクルセンターを整備することを要望する。

21年度決算は、予算目的を達成し、区民の期待にこたえた予算執行であると判断した。これからも、区民サービスの向上を目指し、行財政の構造改革に積極的に取り組み、区民が真に幸福を実感できる荒川区の実現に向けて全力を尽くしていただきたい。また、様々な課題に対する全庁的な執行体制の確立を強く要望する。決算特別委員会において、わが党からの多くの意見を真摯に受け止め、今後の区政運営に反映させることを要望して、賛成の討論とする。

していくべきである。さらに、行政評価制度への外部評価の導入の検討や、休止や抜本的な改善も含まれた事務事業の見直し、行財政の体質改善など、行財政改革に全力で取り組むことを強く要望する。

具体的な施策では、わが党が区長に提出した「平成21年度予算要望書」に掲げた項目は、概ね予算化され執行されている。さらに、決算委員会ではわが党は、高齢者住宅対策、区民住宅の建設借入金の一括返済、「(仮称)空地・空家等を適正に管理する条例」の制定、隣接地を活用した日暮里区民事務

所の改造、南千住地域の保育需要への迅速な対応、高齢者肺炎球菌ワクチン接種の公費助成、南千住駅周辺の放置自転車対策、区営運動場への夜間照明の導入など、様々な要望や改善の提案を行った。いずれも区政の重要課題であり、今後の事務執行や予算編成に十分反映し、実現に向けた検討を要望する。今後も区長の適切な地域経営を要望し、賛成の討論とする。

### 反対

区民の暮らしの大変さを受け止めた最大限の  
具体的支援で「安心の砦」を築くべき

共産党

国民生活は失業者の増大、所得の減少や家計への負担増、中小企業の倒産・廃業など一層厳しくなっている。区が「安心の砦」を築くのであれば、区民の暮らしの大変さを真正面から受け止めた最大限の具体的支援が必要である。

第一に、医療・介護では、国への国庫負担引き上げの働きかけとともに、基礎的自治体としてできる限りの支援が求められている。第二に、保育園待機児解消に向け、あらゆる可能性を検討し、緊急対策を実施すべきである。保育に市場原理を持ち込む「子ども・子育て新システム」に対しては、区としてはつきりとした態度表明が求められている。第三に、「中小企業金融円滑化法」の期限が切れると、企業の倒産が急増すると言われており、区として、中小企業の

### 反対

財政出動は区民の窮状を救えず  
地域経済は衰退。  
再開発事業の検証と見直しを。

元気クラブ

長期化する経済危機の下、区民の窮状を支援する財政出動をどのように行うべきか問われたが、産業支援策は不十分で、地域経済は衰退の度を増した。区内10ヶ所に

「施策の着実な展開を評価、  
大事なものを守るために戦う決意と覚悟」  
を涵養する教育を要望

日本創新党

財政の健全化を行いながら、施策の着実な展開を図った決算を評価した上で、今後の課題を述べる。ヒブワクチンへの区独自補助のように、今後も健康を守るのに不可欠なワクチン接種を国に先駆けて推進するよう強く求め

### 賛成

各分野での積極的な取り組みを評価、  
今後重要課題の解決に向けた主体的な取り組みを要望

民主・市民

平成21年度に発生した新型インフルエンザに対する区の先駆的な取り組みを評価する。この経験を踏まえた検証を行い、強毒性の際にも適切に対応できるよう取り組んでいただきたい。

区は、各分野において、積極的に取り組んでいるが、諸課題の解決には、国と地方、行政・住民・

い工事契約があった。中小事業者の破綻や労働者の賃金不払いにならぬよう改善を求める。  
大学進学のための奨学金制度や児童クラブの子どもたちの夏休み給食など、「食べること」や経済的支援策が必要だ。自治総合研究所は指標化が難しい「幸福度」よりも「子どもの貧困」の研究成果を区の施策に生かすよう求める。

276億もの巨額の補助金を費やした再開発事業は区民の利益に合ったのか。検証は不十分であり、今後の計画は見直すべきだ。  
最近、予定価格の6割に満たな

育、外国人学校保護者補助金の廃止、「大事なものを守るために戦う決意と覚悟」を涵養する教育の実施などを求める。  
平成23年度の予算編成では、日本創新党が指摘した事項に留意の上、効果的で効果的な施策を盛り込むよう要望し、賛成討論とする。

議費は、議員定数の削減断行などは正すべき課題が山積みである。教育・子育て支援では、完全米飯給食や修学旅行の就農体験化、幼児教育に注目した取り組み、小中学校での日本語教



### 賛成

高齢者に対する肺炎球菌ワクチン接種の公費  
助成、日暮里駅前活性化策拡大などを要望

正論の会

荒川区の歳入構造の40%以上を占める特別区交付金の財源である法人事業税地方分は厳しい状況にあり、今後は相当厳しい行政運営を覚悟しなければならない。  
さて、決算に関する特別委員会

の反映を期待する。さらに、高齢者に対する肺炎球菌ワクチン接種の公費助成の適時的確な実施を願う。また、日暮里駅前を「地方市町村の発信基地」と位置づけ、駅前広場での物産展開催や駅前再開発ビル等に「市町村サテライトオフィス」を設置するなど、日暮里駅前活性化策拡大の具体的な検討を要望し、賛成の討論とする。

## 委員会活動

平成22年第1回定例会終了後から平成22年第3回定例会最終日までの間の各委員会の活動状況をお知らせします。

3月18日～10月13日

### 議会運営委員会

4月30日

・議会改革に関する検討

5月17日

・第1回臨時会について

・議会改革に関する検討

5月28日

・常任委員、議会運営委員の改選及び特別委員の選任について

・第1回臨時会について

・今後の議会日程について

・議会改革に関する検討

5月31日

・正副委員長を互選

6月2日

・第2回定例会について

・議会改革に関する検討

6月9日

・議会改革に関する検討

6月15日

・第2回定例会について

・第2回定例会最終日について

7月21日～22日

・行政視察を実施（鳥取県「鳥取県議会綱領」、鳥取県鳥取市「議会活性化のための取り組み」）

8月30日

・第3回定例会について

・議会改革に関する検討

9月8日

・第3回定例会について

・議会改革に関する検討

### 常任委員会

10月8日

・第3回定例会最終日について

・今後の議会日程について

・議会改革に関する検討

10月8日

・第3回定例会最終日について

・今後の議会日程について



下田臨海学園

### 福祉・区民生活委員会

- 5月21日
  - 【所管調査事項】(仮称)区立第三東日暮里保育園の基本設計案
  - ・南千住駅前における私立認可保育所の整備計画
  - 5月31日
    - ・正副委員長を互選
  - 6月4日
    - ・委員会所管の組織及び分掌事務
  - 第2回定例会提出予定案件
    - 【所管調査事項】平成23年度から使用する教科用図書採択
  - 6月25日
    - 【議案審査】1件
  - 7月15日
    - 【所管調査事項】荒川コミュニティカレッジの実施
    - ・平成22年度学校パワーアップ事業の実施
  - 8月31日
    - 【所管調査事項】第3回定例会提出予定案件
  - 【所管調査事項】平成22年度都区財政調整(当初算定)の荒川区算定額
  - ・地域ポータルサイト「荒川ゆうネット」の見直し検討の結果
  - ・意見書案について
  - 9月14日
    - ・区庁舎耐震改修工事見学
    - 【議案審査】5件
  - 【所管調査事項】平成22年度行政評価の結果報告
  - ・「平成21年度荒川区包括年次財務報告書」
- 4月15日
  - 【所管調査事項】障害福祉サービス等に係る利用者負担の軽減
  - ・JR三河島駅のエレベーター整備補助
  - ・対面音訳者派遣事業の実施
- 5月20日
  - 第1回臨時会提出予定案件
  - 【所管調査事項】平成22年国勢調査の実施
  - ・証明書コンビニ交付サービスの導入
  - ・小規模多機能型居宅介護事業者支援補助事業の実施
  - 5月31日
    - ・正副委員長を互選
  - 6月3日
    - ・理事の選任
    - ・委員会所管の組織及び分掌事務
  - 第2回定例会提出予定案件
    - 【所管調査事項】法人立特別養護老人ホーム整備事業者の選定結果
  - 6月23日
    - 【議案審査】4件
  - 6月25日
    - 【陳情審査】1件
  - 7月15日
    - 【所管調査事項】平成21年度グリーンパールの運営状況
    - ・「荒川区配偶者暴力の防止及び被害者保護のための計画」の策定
    - ・自殺予防事業の取り組み
  - 8月31日
    - 第3回定例会提出予定案件
    - 【所管調査事項】荒川区生活安全条例の一部改正
    - ・荒川区営住宅条例の一部改正

### 建設環境委員会

- 9月14日
  - 【議案審査】2件
- 【所管調査事項】荒川区における長寿高齢者の所在確認
- ・新聞販売店によるひとり暮らし高齢者等に対する見守り活動
- ・財団法人荒川区地域振興公社(ACC)のあり方
- 3月18日
  - 【所管調査事項】あらかわ遊園遊具事故に係る調査委員会報告書の一部修正
  - ・あらかわ遊園の管理運営業務の直営化
  - 行政視察の集約
  - 4月16日
    - 【陳情審査】1件
  - 【所管調査事項】グラウンドステージ町屋における耐震改修工事の支援完了
  - ・第2回あらかわバラの市の開催
  - 5月21日
    - 【所管調査事項】環境区民リーダー養成講座の実施
    - ・荒川区バリアフリー基本構想の策定
  - 5月24日
    - 【所管調査事項】荒川区景観計画の策定
    - ・建物耐震化の促進
    - ・区で管理する跨線道路橋の点検結果
  - 5月31日
    - ・正副委員長を互選
  - 6月4日
    - 委員会所管の組織及び分掌事務
  - 【所管調査事項】日暮里駅総合改善事業の完了

- 6月25日
  - 【議案審査】1件
- 【所管調査事項】荒川区一般廃棄物処理基本計画の新たな策定
- 7月16日
  - 【所管調査事項】家庭用生ごみ処理機等購入費助成制度の開始
  - ・荒川区市街地整備指導要綱及び荒川区集合住宅の建築及び管理に関する条例施行規則の改正
  - ・マンション実態調査の結果
- 9月1日
  - 第3回定例会提出予定案件
  - 【所管調査事項】荒川区民住宅条例の一部改正
  - ・まちづくり交付金事後評価
  - 9月15日
    - 【議案審査】1件
  - 【所管調査事項】荒川区低炭素地域づくり計画の策定
  - ・あらかわ遊園の運営方法の見直し
  - 10月12日
    - 【所管調査事項】平成21年度包括外部監査結果

### 特別委員会

### 震災対策・危機管理調査特別委員会

- 4月23日
  - 【調査研究事項】区内三警察署との覚書の締結
  - ・行政視察の集約
  - ・視察調査(地域WiMAXの運用)
  - 5月19日
    - 【調査研究事項】

### 拠点開発調査特別委員会

- 4月9日
  - 【調査研究事項】旧真土小学校跡地活用に関する進出意向調査の結果
  - ・三河島駅前地区の再開発
  - ・南千住西口駅前地区の再開発



D級ポンプ(第三中学校)

### 観光・文化推進調査特別委員会

- 4月26日～27日
  - 行政視察を実施(山形県米沢市「米沢市と荒川区の交流」「観光振興」、福島県福島市「福島市と荒川区の交流」「文化振興」)
  - 5月31日
    - ・正副委員長を互選
  - 6月9日
    - ・前委員会の活動状況
    - ・委員会の活動方針
  - 7月23日
    - 【調査研究事項】「荒川区交流都市フェア」日暮里～福島がやってくる」の開催
    - ・荒川区の主な観光スポット
- 4月26日～27日
  - 行政視察を実施(山形県米沢市「米沢市と荒川区の交流」「観光振興」、福島県福島市「福島市と荒川区の交流」「文化振興」)
  - 5月31日
    - ・正副委員長を互選
  - 6月9日
    - ・前委員会の活動状況
    - ・委員会の活動方針
  - 7月23日
    - 【調査研究事項】「荒川区交流都市フェア」日暮里～福島がやってくる」の開催
    - ・荒川区の主な観光スポット



# 意見書提出

本定例会では3件を可決し、関係機関に提出しました。

## 家電エコポイント制度と住宅エコポイント制度の延長を求める意見書

家電エコポイント制度と住宅エコポイント制度は、消費拡大による景気刺激効果と環境負荷の少ない低炭素社会への転換を促進することをねらいとして創設されました。需要不足により低迷を続けていた我が国の景気は、エコポイント制度の政策効果などによって緩やかな回復基調にありましたが、6月のトロントサミット以降の急激な円高とこれに連動した株安の進行により急ブレーキがかかり踊り場に差し掛かっています。輸出の減少や内需の冷え込み、生産の海外シフトによる雇用への影響などにより景気が再び悪化し、二番底に陥るのではないかと懸念が広がっており、強力な経済対策の実施を求める声が各界から挙がっています。

こうした状況を踏まえ、政府は、家電エコポイントについては来年3月まで、住宅エコポイントについては来年12月までそれぞれ延長することを含む追加経済対策を決定しましたが、これでは、減速する景気を回復させるには不十分です。

よって、荒川区議会は、政府に対し、景気の動向に対応して、家電・住宅のエコポイント制度を適宜延長するよう強く要請します。

(内閣総理大臣・総務大臣・経済産業大臣・国土交通大臣・環境大臣あて)

## 「子ども・子育て新システム」の撤回を求める意見書

政府は今年6月、子ども・子育て新システム基本制度案を決定しました。

その内容は、第1に幼稚園・保育所・認定子ども園を一体化して「子ども園」とし、

利用者と事業者の間の直接契約とする、第2に財源を一元化して「子ども・子育て包括交付金」として自治体に交付し、自治体の実施主体となる、第3に現金給付と現物給付をどう組み合わせるか、自治体の裁量に任せるといった内容です。

地方自治体や関係者の理解のないままこの制度案を性急に実施することは容認できません。

よって、荒川区議会は、国会及び政府に対し、この計画を撤回することを強く要請します。

(衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・総務大臣・文部科学大臣・厚生労働大臣あて)

## 尖閣諸島における中国漁船衝突事件に関する意見書

9月7日、尖閣諸島沖の日本領海内で中国漁船衝突事件が発生し、那覇地方検察庁は24日、公務執行妨害容疑で逮捕された中国人船長を処分保留のまま釈放しました。

「尖閣諸島は日本固有の領土で領有権の問題は存在しない」というのが政府の見解です。過去の経緯を見ても中国や台湾が領有権について独自の主張を行うようになったのは、1970年以降であり、それ以前はどの国も異議を唱えたことはありません。

しかし今回、中国は、船長が逮捕されると、閣僚級以上の交流停止や国連総会での日中首脳会談の見送り、そして日本人4人の身柄を拘束するなどの対抗措置をとり、中国人観光客の訪日中止など日本の各種産業にも悪影響が出ている状況にあります。

このような流れの中で、船長を釈放したことは「中国の圧力に屈した」との印象を与えました。今後同様の事件に関しては、国内法に基づいて厳正に対処していく姿勢を貫かなければなりません。また、このような結果は、国際社会にも誤ったメッセージを与え、現政権与党の国家主権に対する認識に疑問を抱かざるを得ず、極めて遺憾です。

よって、荒川区議会は、国会及び政府に対し、下記の事項を実現し、毅然とした外交姿勢を確立されることを強く要請します。

1 「尖閣諸島は日本の固有の領土である」との態度を明確に中国及び諸外国に示し、今後同様の事件が起こった際は、国内法に基づき厳正に対処すること。

2 海上保安庁が撮影した衝突時のビデオの公表を含め、事実関係の解明に努めること。

3 政府は、検察当局の判断も含め、臨時国会の場で国民に対し説明責任を果たすこと。

4 中国からの謝罪や賠償の要求には応じず、日本が被った損害を請求すること。

5 海上保安庁による尖閣諸島の警備体制を充実・強化すること。

(衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・法務大臣・外務大臣・国土交通大臣・内閣官房長官あて)

## 採択した請願・陳情

### 趣旨採択

・ 図書館の開館時間延長についての陳情  
・ 南千住図書館(中央図書館の位置付け)の開館日変更についての陳情

## 声の区議会だよりをご利用ください

荒川区議会では、議会の活動状況を「区議会だより」でお知らせしていますが、目の不自由な方に、議会の活動状況を知っていただくため、「声の区議会だより」を発行しています。

「声の区議会だより」は、「あらかわ区議会だより」の内容をテープに吹き込み、貸し出しするものです。

ご家庭や、お知り合いの方で、ご希望の方がいらっしゃいましたら、議会事務局にご連絡ください。

内線 3616

# 議案の審議結果

平成 22 年第 3 回定例会

○ 賛成 × 反対 - 退席

太字は討論のあったことを示す

議案番号・議案名	会派名・結果 (数字は会派人員)							結果
	自由民主党	公明党	日本共産党	民主党	あらかわ元気クラブ	日本創元新党	あらかわ正論の会	
議員提出議案 (3件)								
第15号	○	○	○	○	○	○	○	可決
第16号	○	○	○	×	○	×	×	可決
第17号	○	○	○	※	○	○	○	可決
区長提出議案 (16件)								
第52号	○	○	○	○	○	○	○	可決
第53号	○	○	○	○	○	○	○	可決
第54号	○	○	○	○	○	○	○	可決
第55号	○	○	○	○	○	○	○	可決
第56号	○	○	○	○	○	○	○	可決
第57号	○	○	○	○	×	○	○	可決

議案番号・議案名	会派名・結果 (数字は会派人員)							結果
	自由民主党	公明党	日本共産党	民主党	あらかわ元気クラブ	日本創元新党	あらかわ正論の会	
第58号	○	○	○	○	○	○	○	可決
第59号	○	○	○	○	○	○	○	可決
第60号	○	○	○	○	○	○	○	可決
第61号	○	○	○	○	○	○	○	可決
第62号	○	○	○	○	○	○	○	可決
認定第1号	○	○	×	○	×	○	○	認定
認定第2号	○	○	×	○	×	○	○	認定
認定第3号	○	○	×	○	×	○	○	認定
認定第4号	○	○	×	○	×	○	○	認定
認定第5号	○	○	×	○	×	○	○	認定

※賛成と退席がありました。